

國學院大學栃木高等学校 インターアクトクラブ

高校生ボランティア・アワード2021

活動概要



ペットボトルキャップ回収
⇒学校で集めたペットボトルキャップを部員で混ぜたごみを分別し、送っています。

わいわいフェス
⇒8月に開催された子供向けの地域イベントにスタッフとして参加しました。コロナ禍での開催だったので、感染予防を徹底し、子供たちと射的、スライダー、シャボン玉、手形アート、水鉄砲などをしてふれあいました。

かかしとマルシェ
⇒クリスマスリースと万華鏡作りで子供たちのサポートをしました。

サクラフェス
⇒企画から全て部員たちが考え、細部にまでこだわり、来場して下さった方々が満足できるようなハーバリウムに仕上げました。当日は、私たちが予想していたよりもたくさんの方々がハーバリウムを体験して下さり、午前中で完売させていただきました。



We are all connected

私たちインターアクト部はコロナ禍でも、ボランティア活動に積極的に参加しています。

学校では月1~2回ペットボトルのキャップの回収・分別、そして、キャップリサイクルの収益をポリオワクチンに変えるエコキャップ運動をしています。

また、栃木市内で行われているイベントのスタッフとしてボランティアに参加しています。

目標 栃木市の魅力をもっと知る
地域との関わりを深める



courageous action will surely save someone

~環境に優しく 人に優しく~

地域との交流

地域の方々とボランティア活動を通して、交流を深め地域のイベントを盛り上げる手助けを行っています。これによって地域経済が活発化します。最近では、かかしの里~桜フェス~でコロナウイルスの感染対策を徹底して家族連れや子供たち、さらにはお年寄りまでもが集まって楽しみました。

校内活動

学校の代表として先生や地域の方々と一緒に様々な活動を行っています。今年は募金活動や学校にあるエコキャップを集め分別したりします。世界中の貧困や飢餓、感染症で苦しんでいる人々にエコキャップをワクチンに変えて手助けをしています。

国際交流

海外の人達と深くかかわることで自分たちの活動の幅を広げ将来に役立つような知識と経験を得ています。例年では、留学生の受け入れや台湾研修を行っています。今年はコロナウイルスの影響で開催ができませんでした。そのため生徒たちは代わりに自宅や学校で海外の記事やニュースをみるなど各自で知識を深めていました。

奉仕活動

自分たちのことだけでなく自分たちの周囲の人にも手を差し伸べる活動を行っています。一昨年には台風19号の被災地に赴いてボランティアを行い自衛隊の人とも協力したりして地域を元に戻そうと一生懸命活動しました。

地域と共に

ボランティア活動を通して地域の人々に寄り添い、交流を深めることで、よくボランティア活動を依頼して下さる方々以外の方たちにも必要としていただけるような存在になりたいです。

また、自分たちがボランティア活動に積極的に取り組むことで地域の魅力を自校の生徒たちに伝え、ボランティア活動への参加を促したいです。



活動団体プロフィール

1994年6月3日 インターアクトクラブ創立

現在部員数
男子：4名 女子：34名 合計38名

会長(部長) : 星野 佑太 (3年)
副会長(副部長) : 木村 愛由菜 (3年)

校訓 「たくましく 直く 明るく さわやかに」

